

平成 23 年 10 月 4 日

各位

会社名	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
代表者氏名	代表取締役社長 小澤 洋介 (コード番号：7774 JQ)
本店所在地	愛知県蒲郡市三谷北通 6 丁目 209 番地の 1
問合せ先	取締役経営管理部長 大林 正人
電話番号	0 5 3 3 - 6 6 - 2 0 2 0 (代表)

「再生医療の実現化プロジェクト 再生医療の実現化ハイウェイ」 に関する実施機関選定のお知らせ

独立行政法人理化学研究所および財団法人先端医療振興財団ならびに株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリングは、平成 23 年 4 月 1 日に「iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞移植による加齢黄斑変性治療の臨床研究（以下、本研究）」を三者間で進めることに合意し、本研究を進めてまいりました。

このたび、本研究に関して、文部科学省および厚生労働省が公募した平成 23 年度「再生医療の実現化プロジェクト 再生医療の実現化ハイウェイ」に、独立行政法人理化学研究所が代表実施機関として選定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、「再生医療の実現化プロジェクト」とは、平成 15 年度からの 10 年計画（プロジェクト開始からの 5 年を第 I 期とし、その後の 5 年を第 II 期とする）で実施されており、細胞移植・組織移植によってこれまでの医療を根本的に変革する可能性を有する再生医療について、必要な幹細胞利用技術等を世界に先駆け確立し、その実用化を目指すものです。

「再生医療の実現化ハイウェイ」とは、世界でも比類なき高齢化社会を迎えている我が国において、難病・生活習慣病・障害等に対するこれまでの医療を根本的に変革する可能性のある細胞移植・細胞治療等による再生医療について、その実現化を加速するため、文部科学省および厚生労働省との協働により、基礎研究の成果をもとに前臨床・臨床研究までの一貫した研究開発を実施し、早期の再生医療の実現化を目指すものです。

今回の採択課題につきましては、下記ホームページをご参照ください。

○「再生医療の実現化ハイウェイ」採択課題（文部科学省のホームページより）

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/attach/1311541.htm

記

【公募課題】 短期で臨床研究への到達を目指す再生医療研究（課題 A）

【研究課題】 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞移植による加齢黄斑変性治療の開発

【研究概要】

本研究課題は、iPS 細胞由来の網膜色素上皮細胞を移植することにより、網膜変性疾患である加齢黄斑変性の新たな治療技術の提供を目指すものである。

具体的には移植用 iPS 細胞の樹立法、臨床に応じた分化誘導法、分化誘導細胞の長期腫瘍化の評価などの安全性試験、移植細胞の品質管理方法および対象患者の選択を前臨床試験で達成し、プロトコール作成の上、臨床研究を行う。さらには、研究機関が前臨床試験の段階から企業と連携することにより、効率的に関連技術の中で産業化に適した部分を企業と共同で開発し、世界に発信する。

【当社の役割】

当社は患者自身の細胞・組織を利用した日本初の再生医療製品として、自家培養表皮ジェイスの製造販売承認（適応対象：重症熱傷）を取得し、さらに自家培養軟骨、自家培養角膜上皮の開発も進めてきた。

本研究課題で世界に先駆けて iPS 細胞を用いた再生医療を実現するにあたり、当社がこれまで培ってきた再生医療製品開発技術ならびに品質管理技術等のノウハウを提供する。

【代表実施機関・代表研究者】

代表実施機関	独立行政法人理化学研究所
代表研究者	<small>たかはし まさよ</small> 高橋 政代
所属部署	網膜再生医療研究チーム
役職	チームリーダー
所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町 2-2-3

(今後の見通し)

本件による平成 24 年 3 月期通期業績に与える影響は軽微であると考えております。今後当社の業績に重大な影響を与えることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
経営管理部総務課 PIR 担当 榊原（さかきばら）
TEL : 0533-66-2020 FAX : 0533-66-2019